

WEEKLY REPORT

ROTARY CLUB OF KONAN

2021-22



専任しよう みんなの人生を豊かにするために

創 立 / 1965年6月25日
 例会日 / 毎週木曜日 PM12:30~
 会 場 / 江南商工会館1F 大ホール
 江南市古知野町小金112
 0587-54-8132

事務局 / 江南商工会館 別館1F
 TEL / 0587-55-6554
 FAX / 0587-59-7720
 URL / <http://www.konan-rc.com/>
 Mail / kouanrj@beach.ocn.ne.jp
 会長/長瀬晴義 幹事/永田広光 会報委員長/三輪慎一郎



2021年(令和3年)10月28日(木) 晴 第2713回(当年度第9回)例会

点 鐘
 司 会
 ローターソング斉唱
 四つのテスト唱和

会長 長瀬 晴義君
 SAA 堀尾 庄一君
 「我らの生業」
 富田 清隆 君

— 言行はこれに照らしてから —

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか

ゲスト及びビジター紹介



地区公共イメージ向上委員会(愛知 REC)
 副委員長 稲熊 茂男様

会長挨拶



会長 長瀬 晴義君

先ほど、ゲスト及びビジター紹介にて紹介させていただきましたように、地区公共イメージ向上委員会副委員長、愛知RECの稲熊茂男様が例会に来訪されております。ようこそお越しくださいました。高い席からではございますが、お礼申し上げます。ありがとうございます。

先週は、ガバナー公式訪問5クラブ合同例会でした。早朝よりお手伝いしていただきましたメンバーには改めてお礼申し上げます。午前中にはガバナー、地区幹事を5クラブの会長・幹事で囲み有意義な懇談会を持ち意見交換をすることができ、また、例会では多くのメンバーが、匿名ガバナーのお話を直接聞くことができる機会となりました。

2021-22年度RI会長紹介、RI2760地区 地区方針～コロナゼロ・カーボンゼロ支援～について「人類の危機を救うロータリーになろう！」全員が常にゼロバッジを着用し84クラブ、4,700名の会員が一つになり大きなインパクトを与えることができるとお話しされ、CO2排出による地球温暖化による環境問題など、「2050年カーボンニュートラル(温室効果ガス排出実質ゼロ)」「脱炭素社会」の実現を目指すという課題にも触れられました。

行動方針では8項目による方針をお話しいただきました。今一度、メンバー一人一人がコロナゼロ・カーボンゼロ支援を考えていただきゼロバッジの常時着用をお願いします。

ホストクラブとして無事終えることができましたこと、心よりお礼申し上げます。ありがとうございました。

本日、地区公共イメージ向上委員会副委員長の稲熊茂男様の卓話となっておりますので本日もよろしくお願いたします。

幹事報告 -別紙- 幹事 永田 広光君

出席報告 委員 佐藤 弘夫君

会員数	出席者数	欠席者数	出席率
47名	34名	13名	80.95%

ニコボックス 委員 佐藤 弘夫君

○本日はよろしくお願いします。

地区公共イメージ向上委員会

副委員長 稲熊 茂男様

○本日の卓話、公共イメージ向上常任委員会のクラブフォーラムとしまして、地区公共イメージ向上委員会副委員長の稲熊茂男様をお迎えしております。よろしくお願いいたします。

長瀬 晴義、猪子 明、永田 広光、濱島 聡一郎

各君

○稲熊茂男さん、本日地区のIT活用と公共イメージ向上についてと題する卓話よろしくお願いします。

木本 寛君

○先週土曜日、CBCTVでお菓子を紹介してもらいました。

伊藤 かね子君

○地区公共イメージ向上委員会副委員長 稲熊茂男様、ようこそ江南ロータリークラブへ！本日の卓話、よろしくお願いいたします。

倉知 正憲、松岡 一成、古田 嘉且、杉浦 賢二、
富永 典夫、伊藤 靖祐、沢田 昌久、岩田 静夫、
南村 朋幸、富田 清孝 各君

卓話

テーマ「地区のIT活用と公共イメージ向上について」



地区公共イメージ向上委員会副委員長(愛知REC)
稲熊 茂男様

愛知ロータリーEクラブの稲熊です。

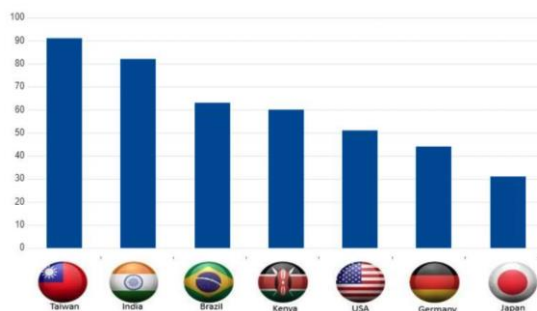
本日は地区公共イメージ向上委員会より訪問いたしました。

今日は、公共イメージの向上とIT活用として公共イメージ向上とは何かを中心にご案内出来ればと思います。

ロータリーの公共イメージとは (My ROTARY ラーニングセンターより抜粋)

「ロータリーの公共イメージ」とは、「私たち自身がロータリーをどう考えるか」だけでなく、「外部の人びとがロータリーについてどう感じているか」を含みます。「ロータリー」という名を知ってもらうことはもちろん大切ですが、それだけでは十分ではありません。ロータリーの活動とそのインパクトを理解してもらってはじめて、参加への関

心が生まれるからです。そのためには、ロータリーについてどう伝えるかがカギとなります。



ロータリー国別認知度

私がロータリーに入ったころ「ロータリーにPRは必要ない、粛々と活動を進めるのがロータリーだ。」というお話を伺い、なるほどそう言うものなんだと学びました。

しかし、ここ数年の公共イメージ向上が重要とRIは提唱し、積極的にPRをする事を推奨するようになりました。

国別ロータリー認知度では日本は30%程度と極端に低く、この認知度の低さに危機感をもって公共イメージの向上と認知度向上の重要性を理解して、意識改革をすることが必要となってきました。

共有したいこと

① 確認

ロータリークラブの公共イメージと認知度向上は重要テーマ

② 自覚

ロータリアン一人ひとりが強力な広報マン(ブランド推進者)

③ 行動

各クラブで広報マインドを高めて奉仕活動の広報にチャレンジ

ポイント

1. 公共イメージと認知度向上は重要テーマという意識改革
2. 個人レベルでSNS等を活用した広報活動をする

※RIでは、Facebook、Instagram、Twitter、Youtube、TiktokなどSNSを個人レベルで積極的に活用するよう提唱しています。

地域社会で好ましい公共イメージを築くために、クラブで何を実行できるでしょうか。

以下はその例です。

- ・クラブのイメージアップにつながる活動を広報する。
- ・地域社会に貢献する活動の情報をシェアする。
- ・活気あるクラブの様子や行動する会員の姿を見せる。

公共イメージが向上することによるメリット

- ・ロータリアンの充実と意識向上
- ・入会への関心を高め、会員増強へ寄与
- ・協力し合う団体、ボランティア、地元プロジェクトの増加
- ・ロータリー財団等への寄付の活性

クラブが地域社会や世界のために行っている活動について知った人は、クラブを支援し、自分も協力したいと思うものです。ロータリーの公共イメージがアップすれば、入会だけでなく、ボランティアや寄付でクラブをサポートする人や、ロータリーとの協力に関心を示す他団体が出てくる可能性が高まります。

奉仕活動の広報に挑戦

これまで、ロータリーは奉仕活動のPRを積極的にはしないうで来ましたが、考えを改め、事業計画の段階から広報視点で構想することを推奨しています。

※メディアに取りあげてもらえるような事業を計画



全会員が協力してこそ、ロータリーの公共イメージを向上させることができます。

3. 共感できるコミュニケーションの設計 | ストーリー発信

各活動の背景にある社会課題やエピソードなどを「PRストーリー」として上手く構築し、モノやコトを魅力的に見せ、受け手(メディアや生活者)に必要な情報として捉えてもらう

一般的な「ニュースの要素」



ロータリーの公共イメージについて考える際には、ロータリー会員が「行動する人びと＝行動人」であるという要素を大切にしましょう。

点 鐘

会長 長瀬 晴義君

本日の食事



写真等がございましたら会報までお知らせください
(担当 南村 朋幸)

3. 行動 | 奉仕活動の広報に挑戦

各クラブのプロジェクト・奉仕活動をもっと拡くもっと深く知ってもらおう広報活動

継続中の奉仕活動や新たな奉仕活動計画
→**広報視点で考えてみる**

広報アイデアやPRストーリーを考えて
→**共感できるコミュニケーションを設計**



各活動の背景にある社会課題やエピソードなどを「PRストーリー」として上手く構築し、モノやコトを魅力的に見せ、受け手(メディアや生活者)に必要な情報として捉えてもらう。

上記、新規性、人々の関心+ストーリーを踏まえた事例